

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育施設課長 高宮 正明

電話番号

0852-22-5909

| | | |
|---------|--|----------------------------|
| 事務事業の名称 | 高等学校校舎等整備事業 | |
| 目的 | (1) 対象 | 県立学校の児童・生徒・職員 |
| | (2) 意図 | 安全・安心な教育環境で学校生活を過ごせるようにする。 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の児童・生徒・職員の安全を確保するため、屋内運動場等の一定規模の吊り天井やバスケットゴール、照明器具等の非構造部材の耐震対策（落下防止対策）を実施する。 | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 | |
|----------|------|-----------------|-------|------|-------|------|------|-------|----|
| 1 | 指標名 | 非構造部材の耐震化率 | 目標値 | | 28.2 | 41.1 | 71.8 | 100.0 | 箇所 |
| | 式・定義 | 耐震対策実施箇所数÷全対象棟数 | 取組目標値 | | | | | | |
| | | | 実績値 | 16.9 | 33.9 | 41.0 | | | |
| | | | 達成率 | - | 120.3 | 99.8 | - | - | % |
| 2 | 指標名 | | 目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 | | 取組目標値 | | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | - | - | - | % |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|-------------|---------|---------|
| 事業費(b) (千円) | 135,226 | 248,167 |
| うち一般財源 (千円) | 37,226 | 33,967 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

地震発生時に重大な人的被害を与える恐れのある屋内運動場等の一定規模の吊り天井やバスケットゴール、照明器具等の落下防止対策をできるだけ早期に完了する必要がある。

- 一定規模の吊り天井の要対策箇所は、9箇所（H27で完了）
- バスケットゴールの要対策箇所は、35箇所（H28までに23箇所完了）
- 照明等の要対策箇所は、73箇所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- バスケットゴールは、要対策35箇所をすべて完了（H29：12箇所実施）
- 照明器具等は、要対策73箇所のうち、4箇所が完了（H29：4箇所実施）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 屋内運動場等の非構造部材のうち、照明器具等の耐震対策（落下防止対策）が必要な箇所が残っている。

②困っている状況が発生している「原因」

- 対策が必要な箇所数が多い
- 対策の内容も箇所によって異なっており、実施内容の調整が必要
- 対策の実施にあたっては、学校の授業や部活動との調整を図る必要がある

③原因を解消するための「課題」

- 文部科学省の示す基準や指導等を踏まえ、適切に対応するために、学校教育活動等との調整を図りながら、計画的に事業実施を進める必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 屋内運動場等の照明器具等の耐震対策について、点検・調査結果や予算、社会情勢等を踏まえ、実施計画の見直しを含め、順次対策を講じていく